



今さら聞けない サミットって何

Q サミットはいつ行われるの？
どのようにして話合いが進められるの？

A 北海道洞爺湖サミットの首脳会合は、来年7月7日から9日までの3日間洞爺湖町のザ・ウインザーホテル洞爺で開催されます。今年行われたドイツサミットの事例から、次の内容が想定されます。

- 初日**
・7月7日 各国首脳会場入り
日本総理主催夕食会及びレセプション
- 2日目**
・7月8日 G8首脳会議
合同記念写真撮影
G8（ジュニアサミット）代表との会合同昼食会・合同夕食会
- 3日目**
・7月9日 アフリカ諸国との会合
新興諸国との会合同記者会見（サミットとしての宣言をまとめたもの）
- Q** 話し合ったことは、そのあとどうなるの？ サミットの様子は、どのようにして世界に伝えられていくの？
- A** サミットでは、大きなテーマのひとつである環境問題や、国際経済・政治などさまざまな問題について話し合われます。その結果はサミット宣言として発表され、参加国はその実現に向け努力をします。サミットの様子をはじめ北海道の独特の文化や歴史、豊かな自然などが報道関係者の取材を通じ、世界中に発信されます。サミットが開催される数日間に、北海道・洞爺湖発のメッセージが世界を駆けめぐり、洞爺湖町が国際社会の注目を集めることとなります。

Q 世界の人々をあたたく迎えるために、わたしたちは何をすればいいの？

A サミットは、政府が行う会議ですが、世界から訪れる人々を私たちが気持ちよく迎え、滞在していただき、たくさんのお心温まる思い出を持って帰っていただくことは、サミットを成功するうえで大切なことです。そのためには、サミットに対する理解を深めるとともに、花を植えたり、まちをきれいにしたり、訪れる方々を親切にしたり、語学や観光ガイド、環境美化活動などボランティア活動へ参加するなど、私たちが一人ひとりが主体的に取り組んでいくことがとても大切です。



観光地としての魅力作り 花でおもてなしを

11月22日(木)に「ガーデンアイランド北海道フォーラム洞爺湖」が(主催 NPO法人ガーデンアイランド北海道、花と緑のまちづくり推進委員会など)洞爺湖文化センターで開催され、約250人が参加。来年のサミットに向け、花でおもてなしを表現しようと成功への気運を盛り上げました。

同NPOは5年前から美しい庭園の島・北海道を目指し、道民運動として各種のイベントを展開しています。基調講演ではタレントのマリ・クリスティーヌさんが「サミットを利用して地域の人と外国が接点となるような機会にすべき」など、異文化交流のチャンスにしようと説明されました。また、パネルディスカッションでは「後々、美しいまちになったのはサミットのおかげであると言われたい」など、新たな観光の魅力作りについても活発に意見交換がなされました。



基調講演するマリ・クリスティーヌさん

観光カリスマが 「おもてなしについて」講演

サミット開催を世界レベルの観光地に飛躍させる好機にしようと、国土交通省、洞爺湖温泉観光協会などが主催して、「訪日外国人受け入れ接客研修」が、11月14日(水)に洞爺湖周辺の住民や観光施設の従業員を対象に約100人が参加して洞爺湖文化センターで行われました。

同省の「観光カリスマ百選」にも選ばれたスイス在住の山田桂一郎さんが「感動してもらえれば、人は来てくれる」、「名前だけでなく、洞爺湖のイメージを知ってもらわなければ意味が無い」として、相手のニーズに応えることがおもてなしの心に結びつき、ひいてはリピーターになることを参加者に説きました。



観光カリスマの山田桂一郎さん